

第5回 塩竈市水道事業基本計画検討委員会の概要

日 時	令和4年2月24日（木） 13：30～14：30
場 所	塩竈市水道部2階大会議室
出席委員	西村委員長、嶺岸副委員長、小林委員、東委員、鈴木（幸）委員、菊田委員
塩 竈 市	水道部長、水道部次長、水道部業務課長
事 務 局	水道部業務課企画総務係

1. 開会

2. 委員長挨拶

お忙しい中、お集りいただき御礼申し上げます。昨年5月から約10か月の期間の中で5回と密な委員会を開催させていただいた。今回は最終的なとりまとめを行うものである。細かな部分まで目を配っていただきご意見を頂ければと思う。また、とりまとめにご協力いただきたい。

3. 議事概要

事務局から資料に基づき説明。その後質疑応答。

（1）塩竈市水道事業基本計画（令和4年～令和13年度）素案パブリックコメントの反映・修正案について

（委員）P25（1）①に「両市」という表現が重なっているので、整理してほしい。

（委員）P16（2）業務委託の推進は事業経営の効率化の一貫であり、一つの例と考えられるので、業務委託の推進はカットしても良いのではないか。

（委員）計画の内容に対するものではないが、業務委託については、他市町村と共同で委託するという方法もあるので意見として発言する。

（委員）パブリックコメントNO16の意見に対する考え方で、経費の節減については、管路の更新経費等の節減できないところは、必要な経費はかけてしっかりと行っていく旨の説明を可能であれば入れた方がよい。更新経費まで削ってしまうと、不利益も出てしまう。

（委員）料金は市民の皆さんの関心が高く、経費は必要なものであるから使用料として徴収しているので、過不足なく伝える表現を工夫していただきたい。パブリックコメントに

対する意見への考え方についての意見で、素案への直接の反映はしないことでよいか。

(委員) パブリックコメントに多くの意見が寄せられたのは良いことなので、出来るだけ丁寧な回答をお願いします。

(委員) NO.10 過度の広報は不要と意見があるが、一般の方に水道について理解をしていただくことは重要だと思う。若い方はSNSを見るので、特に災害時にはSNS等を意識して発信してほしい。

(事務局) にごり水が発生した際に以前は広報車でのみ周知していたが、ホームページとLINEで周知をはじめたところ電話での問い合わせがなくなり効果を感じている。誤った情報を流してしまうと諸刃の剣になってしまうので、使い方を慎重に検討しながら活用してまいりたい。

(委員) SNSで情報を流す際に少し遅いので、もう少し早く流してほしい

(委員) 以前に試験的に塩竈の水をペットボトルでお配りしたことがあった。80周年記念で実施してもよかったのではと思うが、安全性のPRにもなるのでペットボトルに塩竈の水を詰めてお配りすることをお願いしたい。

(委員) 水需要の減少について、昔は加工団地でも水を多く使っていた。企業誘致が多く水を使ってもらうための要素と思う。

(委員) 水産業そのものの活性化も含めて、供給能力は十分あると思うので、活用することはとてもよいと思う。

(委員) 料金収入が下がっている、人口が減少しているというのは、企業誘致や住みやすい塩竈にすることが重要と思う。水道部だけではなく、市全体で、議員さんも含めて街づくりすることが。過去に場外馬券場の誘致が実現しなかったことが残念である。

(事務局) 企業誘致、住みよいまちづくりについては、この水道事業基本計画の上位計画である第6次長期総合計画でまさに重要な課題とし、来年度から実施していくものなので、市全体で取り組んでいきたい。

(委員) P22 表中の「安心な」が「安心」と「な」の間で改行されていたり、P25 強いが「強」と「い」の間で改行されていたり、P27(1)の①と②の空欄の長さが異なるの

で見やすいように整えていただきたい。他の委員から企業誘致の意見があったように、塩竈は少ない土地をどのように使っていくかを塩竈市全体で考え計画を立ててほしい。

（事務局）会の終了後に再度確認させていただきたい。後半部分については全庁での課題にさせていただきながら、対応してまいりたい。

（委員）塩竈に来ると歴史的な街並みがあり、新たに開発することも大事であるがこれまでの歴史・文化を大切にすると良いと思う。

（委員）事務局には様々な意見がある中、日々の業務もある中、素案をまとめていただいた。県は、広域連携の推進役という立場・責務を法律の中にも明確化され、その立場から発言させていただき、計画にも反映していただいたと認識している。これから広域連携を進めていかなければならないので、ぜひご協力いただきたい。委員会を振り返ると、各委員の経験談から物事の経緯を聞くことができたこと、学生の若い委員 2 人が入っており、先ほども塩竈市を分析した発言があったが、きっかけにつながったと思うので素晴らしいと思う。

4. その他

- ・ 本日の意見の反映や簡単な修正、欠席委員の意見反映は委員長と事務局に一任
- ・ とりまとめた基本計画を西村委員長・嶺岸副委員長に市長へ提出、意見交換を行う
- ・ 基本計画は意思決定機関である庁議に諮る

5. 閉会

委員長挨拶

会議のたびにしおがまに来るのが楽しみであった。この委員会では学生委員が入っていることが特徴的であった。これまで学生が入っている委員会に参加したことはなく、実際に 5 回の会議を終え、入っていただいてとてもよかったと感じている。市の発展のため、委員の皆さんに尽力いただきたい。特に若い方々に尽力いただきたくサポートしていきたい。塩竈の発展のため、塩竈を支える社会基盤である水道事業の「強靱」「持続」「安全」について委員の皆さまにご協力をお願いして御礼の言葉とさせていただく。

水道部長挨拶

市長は公務のため、代わって御礼申し上げます。昨年 5 月からの 5 回にわたる検討委員会は今回で終了となるが、委員の皆さまの協力のもと、今回基本計画をとりまとめることができ、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響が長期にわたり委員の皆さまにご迷惑をかけてしまったが、水道をご利用いただいている方々、水道に携わる立場の

方々の水道への真摯なご意見を出していただき、色々な形で参考、反映させた計画が出来上がった。詳細部分の訂正は、委員長のご意見を伺いながら、市長へ提出していきたい。今年で水道創設110年の節目である。本年4月からこの基本計画、そして第6次長期総合計画が実施に入ることとなるが、110年の歴史の重みを自覚し、皆様のご期待にそえるよう、ライフラインである水道事業の基盤強化に努めてまいりたい。